





着々と充実をはかる学生実験

に各大学における教育研究設備購入について是非を調査検討し、対応する一定率の補助金を交付するといふので、各大学ともこの制度を利用

今回ここに日本工業大学通信第一号を発刊することになった。本学も設立以来三度目の冬を迎えようとしているが、この間は他の教職員と一体になつて、新しいユニークな工業大学の建設をめざして努力を傾注してきた。このような大学の姿勢、方針

### 発刊のことば

学長 小野 健 二

裁を新たに企画されたのがこの大学通信である。今後は各教室の動向、教授

な意見を得ることができれば幸甚である。から建設的

- ▼油圧機械試験装置
- ▼動力計
- ▼溶解炉
- ▼電解研磨装置
- ▼歯車試験機
- ▼超万能フライス盤
- ▼万能工具顕微鏡
- ▼圧延機
- ▼油圧サーボ試験装置
- ▼制御用アナログ計算機
- ▼アナログ電子計算機
- ▼マイクログ波実験装置
- ▼デジタル・トレイナ
- ▼超音波実験装置
- ▼音響実験装置
- ▼構造物試験機
- ▼自動平衡式計力機
- ▼光弾性実験装置
- ▼三次元応力凍結装置
- ▼冷暖房実験装置
- ▼曲ゲ加圧ビーム
- ▼ソニーテクトロシンクロスコープ装置など

本学43年度  
設備購入額  
67,337,000円

## 建学の理想を追う 設備購入について

### 全国工科大学中第一位 国庫補助・私大協会調査

さきごろ日本私立大学協会(会長榎方弘毅氏)より発表された資料によると、本学が四十三年度において前記による補助対象として購入した実験、研究用設備の総額は六七三三七、〇〇〇円であり、これは全国理工系単科大学のなかでは第二位のA大学六七、二二七、〇〇〇円を上まわつて第一位である。この設備購入実績は、早稲田大学などの大組織総合大学を含めた五〇八校(単大を含む)中で、第十三位に位するものである。

工科大学においてその教育の効果を上げるためには、実験設備を充実していくことが絶対の必要条件であることは言うまでもない。本学でも建学の過程においては、つねに教学用の施設、設備の整備を他に優先させるよう心がけている。

理科設備に対する国庫補助制度には私立大学理科等教育設備整備費補助金、私立大学理科等研究設備整備費補助金制度があるが、これは国が特に関心をもち、この教育を振興するために各大学における教育研究設備購入について是非を調査検討し、対応する一定率の補助金を交付するといふので、各大学ともこの制度を利用

して設備を充足していくのが常道である。私大協会の調べでは、この制度による理工系単科大学の購入額の最低額はB大学の約一〇、〇〇〇、〇〇〇円となつてゐる。大学によってこんなに購入額に差があるのは、各大学の申請段階での経営事情や文部省に訴える姿勢または体制によるものと考えられる。文部省の補助に関する査定は、大学より提出された購入申請額を前提とするからである。すなわち、その大学が設備の充足の必要性を大学経営のなかでどこま

で評価しているかということ、が問題となつてゐると考えられる。

- ▲電気工学科
- サイリスタ直流電源装置
- 衝撃電圧発生装置
- 高電圧発生装置
- 自動制御装置
- 磁気増巾器実験装置
- 四現象オシロスコープ
- ▲機械工学科
- 水力実験装置
- 内燃機関実験装置
- 金属材料実験装置
- 精密測定実験装置
- 工作機械類および試験装置
- 応用力学、塑性加工機械
- 製図授業用テレビ装置など
- ▲理 科
- 振動型粘度測定装置
- 硝子細工実験装置
- 風速測定装置
- 熱伝導測定装置
- 分光計実験装置
- 抵抗測定実験装置
- ブラウン管実験装置
- 比熱測定実験装置など
- ▲建築学科
- 二現象オシロスコープ
- 高周波ブリッジ
- 万能試験機(一〇〇吨)
- セメント試験装置
- 光弾塑性試験装置
- 万能木工機械
- 万能金属用工作機械
- 静動的抵抗線歪測定器など
- ▲校 具
- 五二二点
- 一六〇点
- ▼油圧機械試験装置
- ▼動力計
- ▼溶解炉
- ▼電解研磨装置
- ▼歯車試験機
- ▼超万能フライス盤
- ▼万能工具顕微鏡
- ▼圧延機
- ▼油圧サーボ試験装置
- ▼制御用アナログ計算機
- ▼アナログ電子計算機
- ▼マイクログ波実験装置
- ▼デジタル・トレイナ
- ▼超音波実験装置
- ▼音響実験装置
- ▼構造物試験機
- ▼自動平衡式計力機
- ▼光弾性実験装置
- ▼三次元応力凍結装置
- ▼冷暖房実験装置
- ▼曲ゲ加圧ビーム
- ▼ソニーテクトロシンクロスコープ装置など

### 本学の設備の現状

ここで、本学の設備の現状を考えた場合、決して十分な設備であるとは言えない。既成の大学の実験室の片隅に無雑作におかれてゐるジャンク品すらいちいち購入しなければならぬのが新設校の実情である。しかし、可能な限りの予算をもつて本学が四十二年開学以来四十三年度末までの二年間に新規購入した設備総額は、従来よりの手持を除いて約一億二千万円であり、本年度購入予定申請額は九千七百三十六万九千六百六十円である。

- ▲機械工学科
- 水力実験装置
- 内燃機関実験装置
- 金属材料実験装置
- 精密測定実験装置
- 工作機械類および試験装置
- 応用力学、塑性加工機械
- 製図授業用テレビ装置など
- ▲電気工学科
- サイリスタ直流電源装置
- 衝撃電圧発生装置
- 高電圧発生装置
- 自動制御装置
- 磁気増巾器実験装置
- 四現象オシロスコープ
- ▲理 科
- 振動型粘度測定装置
- 硝子細工実験装置
- 風速測定装置
- 熱伝導測定装置
- 分光計実験装置
- 抵抗測定実験装置
- ブラウン管実験装置
- 比熱測定実験装置など
- ▲建築学科
- 二現象オシロスコープ
- 高周波ブリッジ
- 万能試験機(一〇〇吨)
- セメント試験装置
- 光弾塑性試験装置
- 万能木工機械
- 万能金属用工作機械
- 静動的抵抗線歪測定器など
- ▲校 具
- 五二二点
- 一六〇点
- ▼油圧機械試験装置
- ▼動力計
- ▼溶解炉
- ▼電解研磨装置
- ▼歯車試験機
- ▼超万能フライス盤
- ▼万能工具顕微鏡
- ▼圧延機
- ▼油圧サーボ試験装置
- ▼制御用アナログ計算機
- ▼アナログ電子計算機
- ▼マイクログ波実験装置
- ▼デジタル・トレイナ
- ▼超音波実験装置
- ▼音響実験装置
- ▼構造物試験機
- ▼自動平衡式計力機
- ▼光弾性実験装置
- ▼三次元応力凍結装置
- ▼冷暖房実験装置
- ▼曲ゲ加圧ビーム
- ▼ソニーテクトロシンクロスコープ装置など

**豊沢登教授(教育原理)**  
文学博士。東京農工大学教授を歴任。米国、欧州、東南アジア、オセアニアを歴訪、成人、青少年教育の研究視察。教育学界はもとより教育心理学、教育社会学界に於ても日本最高権威の一人。「人間の科学と人間の形成」「体系教育学大辞典(編集)」等著書論文多数。

**宗宮知行教授(電気工学原論)** 工学博士。北海道大学藤原大学、慶応義塾大学各教授を歴任、又研究視察の為、数度にわたり渡欧、渡米、又政府の重要な審議会委員をも併任している。電機用刷子、電機整流関係の日本最高権威の一人、著書、論文多数。

**奥住元一教授(数学)** 東京工業大学工業教員養成所助教を歴任、解折学についての著書論文多数。

**中馬悟朗専任講師(数学)** 代数学研究についての新鋭の学者。

**小林勉専任講師(体育)** 体操競技に関する理論、技術的指導は高く評価され、数々の一線級選手を育成し、審判員として活躍している。

**鈴木一郎専任講師(物理)** 原子核構造の理論的研究を行なっている新鋭の学者。

**清島達郎専任講師(物理)** 原子核構造の実験的研究を行なっている新鋭の学者。

**大塚賀弘専任講師(英語)** 英語文体論の研究、特に「Sept Conrad」の文体研究は著名。

**西田英郎専任講師(数学)** 統計数学についての業績論文等がある。

**古沢謙二助教(独語)** 西ドイツ、ドキュメントセンター、ハノーバー工科大学に於て調査研究。

**「トーマスマンのシラ一観」「プレヒトの詩」**等について論文等がある。

**高見清(数学)** 陸軍士官学校、早稲田大学教授を歴任。「数学要論」等著書、論文「行列と行列式の理論」・「多角」

**橋爪浅治(数学、統計学)** 文部省統計数理研究所文部技官を経て現在日本女子大学家政学部助教、同大学計算研究所主事(兼務)。「分布函数とその経験分布函数の交点の数の平均値について」「広島原爆生幸存者における貧血の臨床的統計的研究」等論文多数。

**山口誠一(数学)** 微分幾何学研究についての新鋭学者

**松村英一(鑄造工学)** 現在、埼玉県銻物機械工場試験場勤務。

**川島忠雄(振動工学)** 現在、東京電機大学講師。自動制御に関する研究業績が多い

**漆原富士夫(機械材料)** 「真空溶解せる鋼の性質に関する研究」等論文多数。株

# 今年度 新任教員の横顔

**【電気】**  
**鈴木務(電子機器)** 電気通信大学助教、米国オハイオ州立大学アンテナ研究所の客員研究員として渡米、「電波方位測定機」「電子工学辞典」「エザキダイオード入門」等著書、論文多数。

**大岡松男** 日本放送協会送科学基礎研究所視聴科学研究室長を経て、現在、東京芝浦電気株式会社音響事業部長

**吉岡勝(英語)** 米国籍、早稲田大学商学部英会話講師を歴任、英語教育論に関する研究がある。

**進藤幸三郎(マイクロ波工学)** 日本無線株式会社事業部長、三菱電機株式会社、電子機器事業部無線技術部長、を経て、現在、三菱TRW株式会社顧問、菱洋電機株式会社顧問、芝浦工大講師。

**天野利通(有線通信)** 工学博士。東京工大工業教員養成所講師、相模工大講師を歴任。現在、沖電気工業株式会社品川事業所勤務、自動交換機についての研究、発明は特許を著名、著書、論文多数。

**岩瀬勝(電気鉄道)** 工学

博士、技術士、鉄道技術研究所電車線研究室主任研究員。電気鉄道における架線の容量集電関係の論文多数。

**武井武(電気化学)** 理学博士。東京工業大学教授、慶応義塾大学教授を歴任。慶大名誉教授。

**【建築】**  
**竹内一雄(土木工学通論)** 芝浦工業大学専任講師。

**海野三蔵(建築施工)** 工学博士。東京電機大学教授。鉄構研究者として工場クレイン梁の振動制御に関する論文等がある。

**柳瀬駿(電気設備)** 工学院大学教授。建築界での照明設備研究の第一人者。

**吉田先生に 藍綬褒章**  
市川先生に秩父宮章 武井先生に瑞宝章

**吉田衛教授(機械工学科)** は長期にわたる工業技術発展への貢献、とくにわが国の工業規格制定についての多大な業績により、今秋、藍綬褒章を受章された。

**市川直晴助教(教養科、保健体育)** は、陸上競技を通じて、長期にわたる体育活動発展への功績により、秩父宮章を受章された。

**【機 械】**  
**松村英一(鑄造工学)** 現在、埼玉県銻物機械工場試験場勤務。

**川島忠雄(振動工学)** 現在、東京電機大学講師。自動制御に関する研究業績が多い

**漆原富士夫(機械材料)** 「真空溶解せる鋼の性質に関する研究」等論文多数。株

**岩瀬勝(電気鉄道)** 工学

**武井武講師(電気工学科)**

## 学 年 曆

▼十二月二十二日～一月九日 冬期休暇 ▼二月二日～二十四日 後期末試験 ▼二月二十一日 成績提出締切 ▼三月二十五日 本学創立記念日 ▼四月八日より四十五年度学生証交付 ▼四月十五日 新年度授業開始

## 入 試 関 係

願書受付期間 第一次一月十日～二月十四日、第二次二月二日～三月十九日  
入学試験日 第一次二月十六、十七、十八日、第二次三月二十、二十一日

44年度後期第2回 授業料等の納入は **1月10日** までです。

◇ 納付払込書は12月中旬までにお手許にお送りします。

◇ 後記第2回分授業料 **25,000** 円、実験実習費 **5,000** 円、合計 **30,000** 円(各学年とも同額)です。

総務部 経 理 課

校歌制定すすむ

福田君ら四編佳作

入選作なく神保氏に委嘱

校歌の作詩作品応募は九月二十日に締切られたが、応募総数は職員一編、学生十二編計十三編であった。校歌制定委員会(委員長伊藤甫教授)ではただちに選考に入り、十三編の中から入選作を求めて数回の会議を重ねた。いずれの作品にも苦心のあとがみられ、それぞれの訴える詩心を感じることはできた。しかし新しい理念と構想のもとに生れた建学の姿を適確にとらえ、それをつねに未来に向けて発展させようとする希念を詩心として一編のなかに昇華させ切ることのできた作品はなかったと思われる。このため十月二十五日予定の入選発表はやむなく延期され、十一月十日にいたって次の四編の佳作を選びあげることにとどまった。佳作の四氏には規定通り賞金二万円づつが贈られ、他の参加者には参加記念品が贈られることになる。

日本工業大学 (総務部 松本義男)

ああ新緑の 草の海 映す姿も たのもしく 真理を学び志す 集う学徒の たのもしさ おお 日本工大 わが学園 (電気一年 福田 功)

科学の未来 拓かんと 無尽の夢を 描きつつ 利根の流れと 歩み行く 我らが誇りは 人のため 真の学問極め行く 我らが母校 日本工業大学 (電気二年 南雲敏夫)

利根の流れの水清き ここ武蔵野の宮代に 工学の道きわめんと 集いしわれらの使命は重し ああ 工学の府

菊薫る十一月二日 華やかに彩られた大 学祭の盛り上がるム ードの中で 昭和四十四 年度第三回 後援会理事 会が、学内工業教育 記念館で開催された 出席者は、青島会長

後援会たより

30名が出席して 第三回の理事会開かる

真剣な討議が行なわれ、盛会であった。 議案は、第一号予算執行に

螢雪の琢磨重ねて とこしえの真理の道を 共に進む我ら

日本工大 (電気二年 黒沢健悟)

多彩な内容 「からっ風祭」開く

学生自治会主催の大学祭「からっ風祭」は十月三十日

の体育祭を皮切りに十一月一日、二日、三日にわたって行なわれた。内容としては展示討議会、講演会、演奏会などがあり盛会であった。なお、終了後、学生部長補佐、総務部長、庄務主任なども参加し反省会が行なわれた。その結果をもとに、より充実した大学祭に発展して行くことが期待される。



- 十月一日付 事務職員 学生部学生課付 竹内 秀雄
- 明治学院専門学校経済科卒 県立越谷高校より
- 十月一日付 事務職員(図書館司書) 図書館付 進藤美美子
- 藤女子大文学部国文学科卒 十一月一日付 事務職員 総務部設備課付 荒井 清美
- 鹿児島実業高校卒 三共暖房株式会社工事課より
- 十一月一日付 非常勤事務職員(看護婦) 総務部庶務課付 今野もとの
- 泉橋慈善病院産婆看護科卒 杉戸町母子センター勤務

「黎明」を統一テーマに盛大に行なわれたからっ風祭

関する中間会計報告承認の件 第二号学生クラブ棟建設に関する件などで、第一号は全員一致で承認され、第二号は次年度への継続事業として取扱う方向で検討し、早急に結論を出すことで、意見の一致を見

**富戸海浜寮・赤倉山荘** の御利用を

申込は本学本部へ 目黒区駒場町1の35の32(467)2131-5

■富戸海浜寮: 伊豆半島の東海岸に位置し、伊豆の山々を背景に紺碧の海がひろがる。磯釣に、海水浴に、ドライブの泊所に、みかん狩りにどうぞ

□所在地: 静岡県伊東市富戸弘海岸 □交通: 伊東駅よりバス40分八幡野行き、 □宿泊費: 1泊2食付 750円

■赤倉山荘: 妙高の山々が雄大にそびえ、高原の風は涼しい。冬には展開したとんだスロップがスキーのメツカとなる。避暑に、登山に、スキーにどうぞ

□所在地: 新潟県中頸城郡妙高高原赤倉 □交通: 信越線、田口駅下車、バス赤倉温泉 □宿泊費: 1泊2食付 750円(冬850円)

人事